

PATENT Attorney®

パテント・アトニー

冬

VOL. 48

日本弁理士会広報誌

2007

●「PATENT ATTORNEY」は「弁理士」のことです。



●新企画 特許調査もやま話 ■ジャーナリスト「ぼれ話」
●弁理士風土記(岡山) ●シリーズ特産品(すさみケンケン鯉)
●知的財産権なんでもQ&A ●漫画「なすびくんのお仕事」
●特許庁からのお知らせ ●JPAA Information

◎ヒット商品はこうして生まれた
ヒット商品を支えた知的財産権
新たな性能を守るための特許戦略
「キユキュット」

知的財産権なんでもQ&A

Q データのコピー防止の新しい技術を開発しました。現在、コピー防止技術について特許を取得するかどうかを検討していますが、特許を取得するために出願すると技術内容が公にされると聞きまして、コピー防止を解除する技術も明らかになってしまい、非常に困ります。秘密を守りつつ、特許を取得できないでしょうか？

A 特許出願すると、1年半後に出願内容が公開されます。特許制度は出願内容を公にすることによって世の中全体の技術水準のレベル・アップを図ることを目的の一つとしています。残念ですが、秘密を守りつつ特許を取得することはできません。

特許出願した場合、コピー防止技術は公になりますのでその解除技術も知られてしまう可能性は生じるでしょう。また、知らないところで模倣品が出回ることも考えられます。ただし、特許出願しなければ、特許権を盾にした発明(技術)の保護を受けることができず、コピー防止技術を法的に守る手立てがなくなってしまうことにもなりかねません。

世の中に公にされることを承知で特許出願すべきか、あえて出願せずにノウハウとして秘密にしておくかを判断することも、技術戦略上重要と言えます。

●宮崎県／サービス(36歳)

◎このコーナーでは知的財産権に関する皆さまの質問にお答えします。質問事項を記載して、下記の住所にハガキまたはFAX.03-3581-9188で日本弁理士会広報誌「Q&A係」までお送りください。尚、掲載させていただいた方に記念品を進呈いたします。



特許庁からのお知らせ

「中小・ベンチャー企業のための知財支援ガイド」について

こんなことでお困りではありませんか？

- 特許を出願したいけれどお金がかかる...
- 出願したけれど審査請求を迷っている
- できるだけ早く権利化したい

特許庁では、中小・ベンチャー企業の皆様をサポートするため、支援施策全体をご紹介した「中小・ベンチャー企業のための知財支援ガイド」を作成しております。

本ガイドブックは、各地域の経済産業局特許室、(独)工業所有権情報・研修館などで入手できます。また、特許庁1Fロビーにもございますので、ご自由にお持ちください。

また、特許庁ホームページから情報をダウンロードすることもできます。詳細については担当までお問い合わせください。

特許庁総務部普及支援課中小企業等支援企画班 (電話03-3581-1101 内線2145)



「弁理士Info」

「ヒット商品を支えた知的財産権」のご案内

知的財産権制度と弁理士の業務について、イラストや図を使ってわかりやすく解説したパンフレット「弁理士Info」(旧弁理士Navi)及び季刊誌パテント・アトニーのヒット商品を支えた知的財産権と題して連載してきた内容を1冊にまとめた「ヒット商品はこうして生まれた!」が新しくなりました。

一般の方には原則として無料で差し上げております。(送料は当会で負担します)

ご希望の方は、下記ご連絡先までお問合せ下さい。

◆連絡先 広報・支援・評価室◆
ご希望のパンフレット名と部数、ご送付先、お電話番号を明記の上、下記までお申込ください。
FAX: 03-3519-2706
mail: panf@jpaa.or.jp

PATENT ATTORNEY [パテント・アトニー]
●平成19年12月19日発行 第48号 ●無断転載禁止 ●編集/日本弁理士会広報センター ●発行/日本弁理士会
●〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-4-2 ●電話 03-3581-1211(代) ●FAX 03-3581-9188

R100

PRINTED WITH SOY INK™



シリーズ 特産品「すさみケンケン鰯」
JAPAN 商標登録 第5010147号

和歌山南漁協すさみ支所(旧すさみ漁業協同組合:4月1日より漁協合併により改称)で取り扱うかつおは、以前から鮮度が良いという事で、出荷先である荷受、仲買関係者等の間から高評価を得ており、この度、「すさみケンケン鰯」として地域団体商標(第5010147号)の登録がなされました。

この「すさみケンケン鰯」は、ケンケン漁で釣り上げたかつおを直ちに活け締めにして丁寧に放血し、冷水に入れて沖合から短時間で市場に運ばれ、品質保持に努めて造られたかつおです。なお、ケンケン漁とは、曳縄一本釣漁法のこと、船を走らせながら疑似餌を生きエサのようにおどらせ、魚を誘惑して釣り上げる漁法です。そして、鮮度保持技術を駆使して造られた「すさみケンケン鰯」は、脂がのっているにもかかわらず、さっぱりした食感と舌にまとわりつくような旨みがあります。そのため、すさみでは一般的なタタキよりそのまま刺身で食べる方が好まれています。

すさみの海の男のかつおにかける思い入れが、繊細な取り扱いとなって現れた「すさみケンケン鰯」を、是非、一度ご賞味下さい。



このコーナーに掲載御希望の方は、「特産品」のプロフィール・連絡先をFAX:03-3519-2706までお送り下さい。

倉敷美観地区

岡山県は、降水量が少ないことから「晴れのくに」と呼ばれています。台風、地震等の被害も少なく、暮らしやすい土地です。

大阪から引っ越してきて3年、事務所に勤め始めてから2年が経ちました。事務所は倉敷の美観地区から歩いて15分ほど、普段は家と事務所の往復の毎日ですが、先日、休みの日に美観地区観光をしました。観光客に紛れて倉敷川畔に立ち並ぶ白壁、風にゆれる柳並木を眺めながら、ギャラリー、土産物屋をまわりました。職業病か、どこかで見たことのある商品名、面白い形状や構造のもの、「出願中」と記載されている商品を手に取って眺めてしまいます。ウィンドウショッピングをした後、古い民家を改装したクーラーのない喫茶店に入り、岡山名産の桃太郎ぶどう(商標登録第4122681号)、ピオーネがトッピングされたぶどうのパフェを食べました。

知的財産権の保護対象は、その土地の産業、特産物、文化、歴史等によって影響を受け、土地柄が出てくるものだと思いますが、毎日書類と向き合っているだけではなく、たまには町を散策し、市場調査(?)をするのも有意義だなと思いました。今度、社員旅行で中国の上海に行くのですが、その際には、現地で模倣品を探しながら食べ歩きのツアーをしようと思っています。



シリーズ 22 弁理士風土記 (岡山)

森特許事務所
弁理士 齊宮 瑞枝



大原美術館

株式会社 2004年春に発売された花王株式会社の食器用洗剤キュキュットは、発売直後から好評意見が多く寄せられたという。これは、新たな性能である素早い泡立ちとすすぎ、ぬめりが残らない洗いあがり、消費者をとらえたことの証左である。

汚れ落ちのよさを求める消費者が実感できる性能を、どう設計するかが洗剤開発のカギとなる。キュキュットは「素早い」をキーワードにしたと語る、同社ハウスホールド研究所の吉田隆治さんが着目したのは、界面活性剤「アルキルグリセルエーテル(AGE)」だった。単分子として働くAGEの特徴が速泡性と、油汚れを素早く取り去る性能を生んだ。AGEを含む新たな洗浄成分は、マイクロオッシュと呼ばれる。

マイクロオッシュの技術は、液体洗浄剤組成物として特許出願、登録さ

れている。一般の洗浄剤に使われている成分とAGEとの組み合わせは公知だったことから、AGEを特定の1種に限定した選択発明として出願された。

「選択発明では、効果、即ち何を実現するかを明確にしなければなりません。一番強調すべき性能として、早いです」と洗いあがりの感触を取り上げました」というのは、同社知財センターの網屋毅之さんである。特許化に当たってぬめりのない洗いあがりの感触は、消費者のニーズに合致することを主張した。また、従来の洗浄剤に関する特許で、すすぎに言及されている例は少ないという。

特許出願では、技術を説明するための「性能の数値化が最も難しい」と吉田さんはいう。JISなどの基準はあるが、それでは示せない性能がある。洗い上がりの感触などは官

能評価で示すことになるが、その内容が曖昧だと受け止められないように示すことがポイントになる。

洗浄剤は歴史の長い分野であり、また競合商品も多い。「液状の洗浄剤は、成分を混ぜれば誰でも簡単に同じものを作ることができる。特許は広くとるのが望ましいのですが、どこまで限定したら認められるかとの兼ね合いで、出願内容を決めていきます」と網屋さんはいう。同社では、研究開発で新たな技術ができた時点で特許をとり、商品化の進展とともに周辺を守るための特許のほか、商標や意匠を出願するそうだ。キュキュットも商標、意匠が登録されている。

05年にシンクの水アカ汚れも落とせる「クエン酸効果」を、さらに翌年「ピンクグレイプフルーツ」、「若竹」を追加したキュキュットは、同社の主要ブランドの一つに成長した。

特許の調査をしていると非常に珍しいデータに遭遇することがあります。特許出願は、出願日から1年6ヶ月が経過すると自動的に公開されます。これが公開特許公報です。出願の取下げや放棄をしない限り、いやでも公開特許公報が出てしまいます。審査が済んで特許が成立しますと、さらに別の公報として、登録公報が出ます。まれに、審査が早く済んで1年6ヶ月よりも前に特許が成立しますと、先に登録公報が出て、あとから公開特許公報が出ることがあります。それでも、1年6ヶ月からそう遅くない時期に公開特許公報が出ます。ところが、例えば、特願平4-54686号という特許出願は、平成4年に公開特許公報が出ていますが、公開特許公報が出ていません。すなわち、出願から12年の間は、秘密の状態にあり、その後、突如として登録公報が出てきます。その理由はわかりませんが、非常に珍しいものです。(弁理士 鈴木 利之)

ヒット商品は、こうして生まれた!

ヒット商品を
支えた
知的財産権 VOL. 48

新たな性能を守るための
特許戦略
「キュキュット」

特許 第3617838号
意匠登録 第1215001号
商標登録 第4760169号



宇宙への夢

ジャーナリスト
こぼれ話



世界初の人工衛星「スプートニク1号」は、1957年10月4日に旧ソ連によって打ち上げられ、今年には打ち上げ50周年にあたる。

日本初の人工衛星「おおすみ」は1970年2月11日に、現在のJAXA(宇宙航空研究開発機構)の前身である東京大学宇宙航空研究所によって打ち上げられた。

宇宙開発は米ソの冷戦を背景に、競争で急速に進歩した。日本も開始当初は大きく遅れをとっていたが、今年9月14日には月周回衛星「かぐや(SELENE)」の打ち上げに成功するまでになった。11月には搭載しているハイビジョンカメラが撮影した日の出ならぬ「地球の出」も発表された。真つ暗な宇宙を背景に、荒涼とした月の地平線から現れる美しい地球は心に訴えるものがあつた。

宇宙旅行はまだ一般には高価すぎるが、SF小説などで夢みられていた未来が現実になりつつある。宇宙開発に携わった技術者や科学者に話を聞くと、たった50年でこれ程の進歩を成し得ただけの情熱を感じる。

彼らの実現するであろう夢は、きっと宇宙から見る地球のように美しいのだろう。(鈴木)

【新企画】

特許調査
よもやま話

特許の調査をしていると非常に珍しいデータに遭遇することがあります。特許出願は、出願日から1年6ヶ月が経過すると自動的に公開されます。これが公開特許公報です。出願の取下げや放棄をしない限り、いやでも公開特許公報が出てしまいます。審査が済んで特許が成立しますと、さらに別の公報として、登録公報が出ます。まれに、審査が早く済んで1年6ヶ月よりも前に特許が成立しますと、先に登録公報が出て、あとから公開特許公報が出ることがあります。それでも、1年6ヶ月からそう遅くない時期に公開特許公報が出ます。ところが、例えば、特願平4-54686号という特許出願は、平成4年に公開特許公報が出ていますが、公開特許公報が出ていません。すなわち、出願から12年の間は、秘密の状態にあり、その後、突如として登録公報が出てきます。その理由はわかりませんが、非常に珍しいものです。(弁理士 鈴木 利之)